



Lambeth Conference 報 告

ACC - ガーナ、2023 年

神の世界のための神の教会: カンタベリーでの Lambeth Conference

635 名の主教と 464 名の配偶者が、カンタベリーでの第 15 回 Lambeth Conference に出席するため 2022 年に英国を訪れた。一部旅行できない方々はオンラインで参加した。主教と配偶者が顔を合わせ、交流を楽しみ、祈り、学ぶことができた特別な時間であった。会議のテーマは「神の世界のための神の教会 - とともに歩き、聞き、見る」でした。

Lambeth Conference - 3 フェーズの旅

会議の収集者として、カンタベリー大主教は、会議の後も Lambeth Conference の対話を続けるためのプロセスを常に意図していた。2020 年の会議が新型コロナウイルス感染症の影響で延期された際には、オンラインでの一連の事前会議の時間と場も増えた。Lambeth Conference は 3 つの重要なフェーズからなるイベントとなった。

Lambeth Conference の 3 フェーズ:

- フェーズ 1 - 「ともに聞く」(2022) :- 主教らはオンラインで一連の「主教対話」について、配偶者は「グローバルな対話」について会合を持ち、会議に関連するテーマについて聖書研究を行い、祈りを捧げた。主教らはまた、平和と和解に焦点を



当てたオンラインシリーズ「対立する世界における聖職者」にも参加しました。これらのオンライングループは、主教や配偶者がカンタベリーの訪問に先立ち、準備を整え、互いを知る上で重要な役割を果たした。

- **フェーズ2 - 「ともに歩く」 (2022年7月~8月)** : Lambeth Conference はカンタベリーで開催された。この会議ではペトロの手紙一の聖書を研究し、布教と伝道、セーフ・チャーチ、アングリカンのアイデンティティ、人間の尊厳、環境と持続可能な開発、平和と和解、科学と信仰、弟子育成、キリスト教の一致、異宗教間の関係などの重要なテーマについて議論した。ランベスの呼びかけが各テーマに関連して共有された。
- **フェーズ3 - 「ともに見る」 (2023-2026)** : このフェーズは、会議の成果を引き継ぎ、ランベスの呼びかけを基に構築することを計画している。

この報告は、ACCメンバーにフェーズ3の計画の概要を説明するものである。



フェーズ 3 - Lambeth Conference の成果を基に構築する

フェーズ 3 グループ計画グループ

フェーズ 3 の活動を支援するためのグループが設立され、ジュリオ・マレー主教（パナマ主教）が議長を務めている。アングリカン・コミュニオンからの多様な会員がいる。リソース・スタッフグループもあり、最後のページに掲載している。フェーズ 3 は 3 年間実施される予定であり、グループは大主教へ状況報告を継続的に行う予定である。グループはすでに 1 月に会合しており、2 月に地域別会合を持つ予定である。

フェーズ 3 の目的は次のとおりである。

- 主教間の関係を基に引き続き構築し、アングリカン・コミュニオンの主教であることの意味をともに探求する。
- ランベスの呼びかけの内容とステータスを考慮し、それらが網羅するトピックの検討を続け、アングリカン・コミュニオンの教会にそれらを伝え続ける方法を見極める。

ランベスの呼びかけ

ランベスの呼びかけはそれぞれ起草グループがあった。イベント以降、ランベスの呼びかけに関する会議からのフィードバックは、それぞれの起草グループに提出されている。それらの多くはすでにそれぞれの呼びかけの改訂版を送っている。フェーズ 3 グループは、カンタベリー大主教と協議の上、ランベスの呼びかけをコミュニオンの教会にいつ、どのように送るかを決定する予定である。この計画はまた、呼びかけのトピックについて聖書研究グループがさらに話し合う予定である。

神学・教会学のインプット



ジュリオ主教は、IASCUFO（一致・信仰・職制に関するインターアングリカン常任委員会）の議長グレアム・トムリン主教、およびセクレタリーの Dr クリストファー・ウェルズに、ランバスの呼びかけに関連する問題についての神学的・教会学的な研究を行うよう依頼した。例えば、コミュニオンの中でそれらはどのようなステータスを持ち、構成するアングリカン・チャーチがそれらをどのように「受け入れる」だろうか。彼らはこの要請に同意し、2月会合のためにフェーズ3グループに助言を与える予定である。

主教の聖書研究グループ：会話の継続

Lambeth Conference 以来、多くの主教が、聖書研究グループの会合をどれほど重んじているかを表明してきた。これは Lambeth Conference の力強い成果である。フェーズ3の活動は、これらのグループを励まし、リソースを提供することが中心となる。今年は聖書研究グループの会合を年間3、4回行う予定である。聖書研究グループの中には解釈と、IT と接続の助けが必要なグループもある。

ファシリテーターのチームが私たちと協力してフェーズ3を支援することになっている。それらの多くは、Lambeth Conference で聖書研究ファシリテーターとして活動していた人たちである。フェーズ3計画グループは、ファシリテーターの多くとオンラインで会合している。彼らの多くが会議以来それぞれのグループと連絡を取り合っているのを見てそれぞれ心強く思っている。

フェーズ3へのリソース提供

Lambeth Conference Company は、フェーズ3グループの来年の活動のために、いくらかのリソースを提供することに同意した。フェーズ3はLambeth Conference の中核的な部分であり、カンタベリー大主教によって常にそのように理解されてきたことを考えると、Lambeth Conference Company は、これが前に進めるための適切な方法であると確信している。ジョー・ベイリー・ウェルズ主教は、ジュリオ・マレー主教およびアンソニー・ポッグ主教と緊密に連携して、フェーズ3の運営を主導す



る。カリ・ルレイロが、アングリカン諮問評議会のエписコパル・ミニストリー・サポート・オフィサーに任命された。

フェーズ3グループ

- ジュリオ・マレー主教（パナマ主教） - 議長
- ケイ・ゴールズワージー大主教（パース大主教）
- ホルヘ・カブラル主教（ポルトガル・ルシタニア教会主教）
- ダナルド・ジュート主教（クチン主教）
- ポール・スワラップ主教（デリー主教）
- ビセンチア・クガベ主教（レソト主教）
- アンソニー・ポッゴ主教 - グループ・セクレタリー／アングリカン・コミュニオン・セクレタリー・ジェネラル
- 配偶者グループ（ネットワーク）の代表者（複数の場合を含む）

リソースとスタッフチーム

- ジョー・ベイリー・ウェルズ主教 - アングリカン・コミュニオン・エписコパル・ミニストリー主教
- スティーブン・スペンサー
- ジャネット・マイルズ（2023年6月まで）
- カリ・ルレイロ
- フィル・ジョージ（2023年2月まで）
- ティム・ソートン主教（イングランド教会） - リソースチーム
- アグネス・アブーム博士（ケニア・アングリカン・チャーチ） - リソースチーム

配偶者グループ：会話の継続

会議での多くの主教の配偶者の有意義な経験に基づいて、暫定運営グループが、主教の配偶者ネットワークの計画に関する取り組みを始める。これは、2022年12月のACCで承認されたものである。キャロライン・ウェルビーは現在、大主教とその配偶者に最新情報を送るように手紙を書いているところである。2月に、配偶者の聖書研究グルー



プ会議を担当していたファシリテーターとの間で、どのようにすれば配偶者ネットワークがそれぞれの管区で活動することができるかについて相談することになっている。

Lambeth Conference のフェーズ 3 に関する最新情報 :

ウェブサイト : <https://www.lambethconference.org>

Facebook : <https://www.facebook.com/LambethConference>

Twitter : <https://www.twitter.com/LambethConf>

Instagram : LambethConference